

新型コロナウイルス感染症
対策ガイドライン



A historic Non-League football system of Japan, estd.in 1966

KANSAI SOCCER LEAGUE

1. 考え方

JFAガイドラインに基づき、関西サッカーリーグとして、感染拡大のリスクを最大限に排除し、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ、それらの方のご家族等、が安全に活動できる環境を提供する。

2. 対策組織

リーグ感染対策責任者	関西サッカーリーグ運営委員長
チーム感染対策責任者	関西サッカーリーグチーム実行委員等
試合運営感染対策責任者	当該試合ホームチーム実行委員

3. 責任者の役割

リーグ感染対策責任者

全体統括、リーグ継続等の判断、上部団体エスカレーション等

チーム感染対策責任者

JFAガイドラインに基づく試合開催日までの関係者、選手の健康管理

試合運営感染対策責任者

JFAガイドラインに基づく試合会場における感染予防対策

- ・チーム感染対策責任者と連携した関係者、選手の健康状態の確認（JFAチェックリストによる）
- ・審判団、マッチコミッショナー、審判インストラクター、プレスの健康状態の確認

（JFAチェックリスト等による）についてマッチコミッショナーと連携し実施する

4. 試合会場における感染防止策

チーム感染対策責任者及び試合運営感染対策責任者は基本的にJFAガイドラインに準じて実施することとする。

〈配備品〉

- ・アルコール消毒液（チームロッカー、審判控室、運営本部）
- ・非接触型体温計（運営本部）

〈試合運営感染対策責任者・チーム感染対策責任者確認事項〉

（1）諸室

運営諸室において以下の対応を行なうこと

- ・全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ
- ・ドリンクを冷やすためのドブ漬けは使用しない。

- ・座席を設置する際に前後左右1～2 m間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する。

- ・喫煙所は設けない。

(2) 手洗い場所・トイレ

リーグ関係者、参加チーム選手・スタッフなどはこまめに手洗いを行うこと。

(3) ロッカールーム

ロッカールームは3つの密が揃うため、感染リスクが比較的高いと考えられます。運営責任者チームはロッカールームについて以下に留意すること。

- ・広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密にならないようにする。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、更衣のローテーションを組む等工夫する。
- ・選手はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、更衣終了後直ちに退室すること。
- ・選手がシャワーを使用する場合は交代で使用し、密集は避ける。

(4) 審判控室

運営責任者チームは審判控室について、審判団と連携し以下の準備を実施すること。

- ・広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密にならないようにする。ゆとりを持たせることが難しい場合は、外部にテントなどを設置する措置を講じる。

(5) ベンチ

ベンチでは間隔を空けて座れるよう工夫して椅子を設置すること。

(6) 来場者・観客対応

来場者・観客に関してはホームチームで感染予防対策（消毒など）を必ず講じること。

以下項目に対してホームチーム感染対策責任者は管理すること。

注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置をとること。なお、下記対策が実施できない場合は観客入場の制限（無観客含む）を実施すること。

- ・体調の悪い人を来場させない。
- ・来場者はマスクを着用する。
- ・大声での声援や大旗を使うなどの応援は行なわない（ベンチ外選手の応援も同様）。
- ・会場での応援は間隔を保ち、ハイタッチ・抱擁・肩を組むなどの行為は控える。
- ・喫煙所は設けない。

(7) マッチコーディネーションミーティング（MCM）における伝達事項

- ・試合前と後のセレモニーはなしとする。
- ・試合後の相手チームベンチへの挨拶のみ実行する。
- ・円陣はしない。
- ・倒れた選手に手を貸さない。
- ・得点時にハイタッチ・抱擁を行なわない。エアータッチは可能。

- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為は行わない。
- ・口に含んだ水を吐かない。
- ・ボトルを共有しない。
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・タオルを共有しない。
- ・ピッチ上での会話は互いの距離を配慮すること。
- ・ベンチ内ではソーシャルディスタンスを保ち、スタッフ・選手は出来るだけマスクを着用するなお、ただし、夏場等は熱中症対策のため、その限りではない。
- ・MCMについては、MC、チーム責任者各1名、審判団代表1名、会場責任者1名で実施する。

(8) 飲水タイム、クーリング・ブレイクへの対応

飲水タイムやクーリング・ブレイクについては誤って他の選手のボトルを使わないことや、審判団との誤飲防止のため、約15分ごとに設け、前後半で4回実施する。

※キックオフ～約15分後～約30分後～タイムアップの順序で進行する

(9) ゴミの処理

ゴミについてはチームの責任で必ず持ち帰ること。

5. 試合後の対応

万が一新型コロナウイルスの感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分に注意しながら、リーグ当日に参加選手・スタッフ・運営関係者の健康管理表は試合運営感染対策責任者において保管すること。なお保存期間は試合終了後1か月とする。

6. 接触アプリの活用

厚労省による接触確認アプリ（COCOA）の活用し、陽性者との近接情報などについて情報収集を綿密に行うことを推奨する。